

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-78

部門名： 校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名： 熊本県八代市立金剛小学校 松岡泰 平成 30 年度第 3 回中堅 教員研修
活動名： 主タイトル コーチング 副タイトル 誰にでも温かい心で	
解決すべき課題： 「組織作りとコーチング」の研修では、コーチング理論やロールプレイングの体験などを通して、これから様々な児童・保護者・若手教員に対して必要なスキルだと感じた。本校では、今年度、大学卒の二人新規採用教職員が配置された。今後は、毎年、新規採用教職員が配置されると予想すると、全教職員がコーチングのスキルを身に付け、みんなで温かく育てるという意識をもつ必要があると感じ、この研修を取り入れた。	
目標・方針： 全教職員がコーチングのスキルを身に付けることを目標に行った。 中堅教員研修でのロールプレイングを体験することで、自分自身を振り返ることができたり、日常生活で活用できたりする。子供からの相談、学級担任からの相談、保護者からの相談などの多様なロールプレイングを行うことで、先生方のニーズに合ったコーチングスキルを学ぶことができると考えた。	
活動内容： 以下のような内容を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ① コーチングの理論や基本エクササイズ（中央研修のスライドを使用して） ② 具体例での演習（いくつかの具体例をもとにペアで） ③ 自分自身の振り返りや気づきの交流（ペアや全体で） ④ まとめ 	
活動の成果： 以下のような参加者の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コーチングのことは知っていたけど、実際に行ってみるとなかなかうまくいかなかった。しかし、このようなスキルを学んだことで、今後の保護者・児童などへの接するときに活用したい。 ・ 保護者や児童への対応が苦手でうまくいかないことが一学期たくさんあった。このような場面でこのような声かけや対応をする意味をしっかりと学んだことで二学期の指導からに生かせそうである。 ・ ついつい結論を急ぎすぎて、自分の考えを先に言うてしまうことがあり、反省している。相手の思いや考えを受容・共感し、コミュニケーションを図っていきたい。 ・ 演習を通して、コーチングの良さ、意味を実感しながら、コーチングの手法を学ぶ貴重な時間となった。 ・ コーチングは以前からなんとなく知っていたが、今日の演習を体験しそのベースの部分にカウンセリングの受容・共感があるということが分かり、今後に活かしていきたい。 	
アピールポイント（アイデアや工夫）： <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイングを取り入れたことで、楽しく学ぶことができた。 ・ いろいろな人やたくさんのパターンを想定して演習を行ったことで、様々な先生方のニーズに合った研修ができた。 ・ 実際にある内容でそれを分かりやすくまとめてあり、すぐに活用できる。 	

<写真、図表添付欄>

写真 1

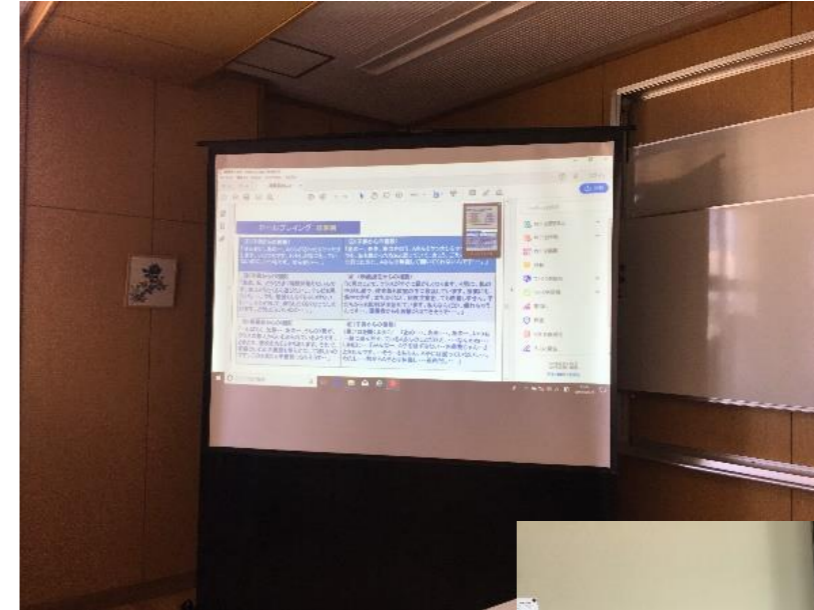


写真 2



写真 3

